

①

令和元年度
9月補正予算(案)のポイント

令和元年9月2日



令和元年度9月補正予算(案)のポイント

令和元年度9月補正予算(案) 32億8,543万円(一般会計 21億536万円)

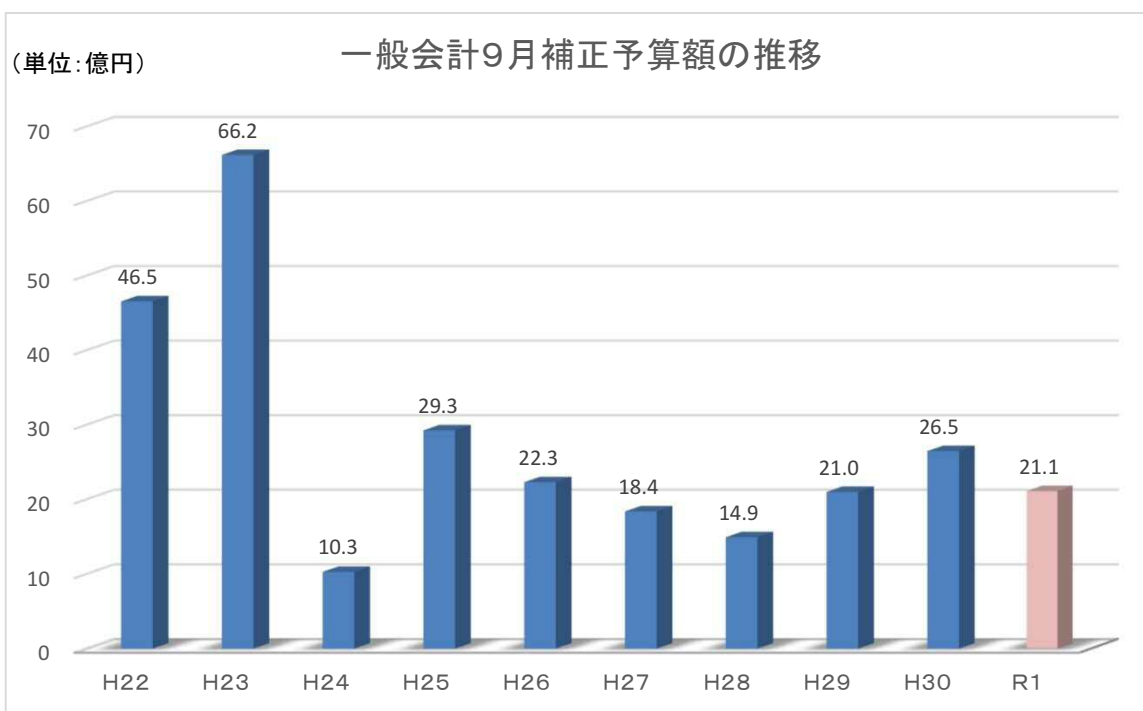
「5大構想の推進」、「安心・安全なまちづくり」の2つをキーワードに予算を編成

1 予算(案)の規模

- ★ 一般会計の補正予算規模は約21億1千万円。このほか、海洋文化施設整備事業、新清水庁舎整備事業などに係る債務負担行為を約272億円5千万円計上。
- ★ 特別会計の補正予算規模は約11億8千万円。内訳は、国民健康保険事業会計で約5億3千万円、介護保険事業会計で約6億3千万円、後期高齢者医療事業会計で約2千万円を増額。

(単位:千円)

区分	令和元年度 9月補正予算額	平成30年度 9月補正予算額	増減額	増減率(%)
一般会計	2,105,366	2,649,181	△ 543,815	△ 20.5
特別会計	1,180,068	2,569,611	△ 1,389,543	△ 54.1
企業会計	—	146,841	△ 146,841	皆減
合計	3,285,434	5,365,633	△ 2,080,199	△ 38.8



※一千万円未満は四捨五入。

2 予算(案)の財源

- ★ 特定財源は、災害復旧事業等の実施に伴い国庫支出金や県支出金、市債を増額する一方で、歴史文化施設建設事業等の減額に伴い国庫支出金や県支出金、市債を減額。
- ★ 一般財源は、主に地方交付税、平成30年度の決算剰余金(繰越金)を活用。

3 主要事業のポイント

(A) 5大構想の推進

— 世界に輝く静岡の実現に向け、

① 海洋文化の拠点づくり

26,399,000 千円(債務負担行為)

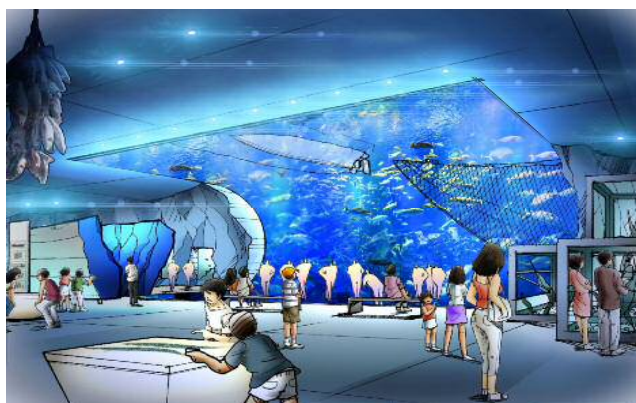
★ 「国際海洋文化都市・清水」の実現に向け、世界に存在感を示す都心づくりを進めるため、中核となる(仮称)海洋・地球総合ミュージアムを清水港日の出エリアに建設。

(単位:千円)

事業名	主な概要	金額
1 ＜債務負担行為＞ 海洋文化施設整備事業 (建設費及び維持管理・ 運営費)	<p>(仮称)海洋・地球総合ミュージアムの設計、建設、維持管理及び運営をPFI事業により一体的に実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所在地 清水区日の出 ・施設概要 海洋・地球に関する総合ミュージアム ※駿河湾をテーマとした海洋・地球を総合的に理解するための水族館と博物館のハイブリッド展示 ・施設規模 2層程度(基本計画段階) ピロティなど津波対策を想定 延床面積9,500㎡程度 ・スケジュール(予定) 令和2年度～令和4年度 設計、建設 令和5年4月～7月頃 開館予定 令和5年度～令和19年度 運営・維持管理 	<p>16,960,000</p> <p>(令和2年度 ～ 令和19年度)</p>



(仮称) 海洋・地球総合ミュージアム建設予定地



(仮称) 海洋・地球総合ミュージアムのイメージ

「海洋文化の拠点づくり」の中核となる事業がいよいよ始動

★ 災害に強く、清水駅周辺に魅力と賑わいをもたらす新清水庁舎をJR清水駅東口に建設。

(単位:千円)

事業名	主な概要	金額
2 <債務負担行為> 新清水庁舎整備事業 (建設費及び維持管理・ 運営費)	新清水庁舎の設計、建設、維持管理及び運営をPFI事業により一体的に実施 ・所在地 清水区袖師町 ・施設概要 清水区役所(清水福祉事務所含む)、本庁組織、事務所等 職員650人程度 ・施設規模 地上7～8階建て(1階はピロティを想定) 延床面積13,000㎡程度 ・スケジュール(予定) 令和2年度～令和4年12月 設計、建設 令和5年1月 業務開始予定 令和5年1月～令和19年度 運営・維持管理	9,439,000 (令和2年度 ～ 令和19年度)



※実際のペDESTリアンデッキは屋根付きとなる。

※※7月31日に公表した要求水準書(案)の中で、各施設の配置について以下のとおり定めている。

「・敷地の南側に清水庁舎を、北側に立体駐車場及び民間施設を配置する。」
 「・立体駐車場と民間施設の東西の位置関係は、事業者の提案によるものとする。」

新清水庁舎のイメージ

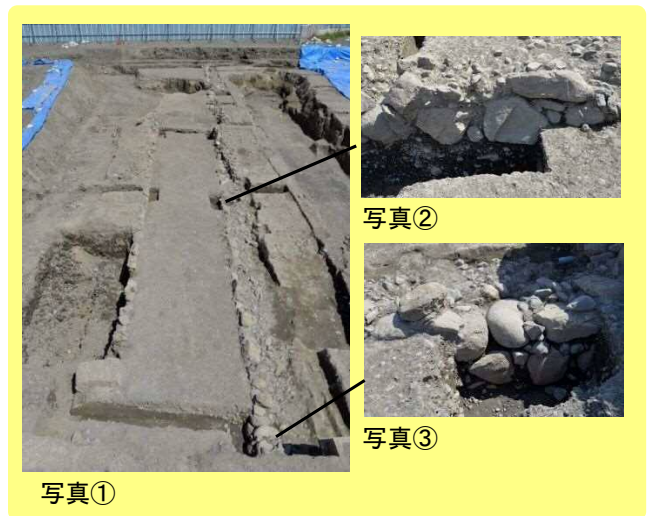
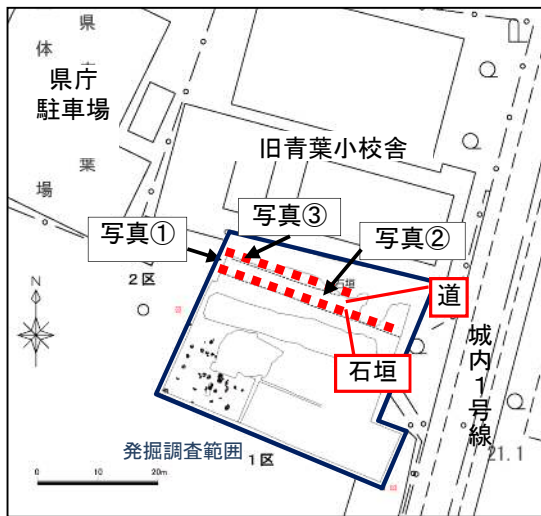
② 歴史文化の拠点づくり

△ 1,097,630 千円

★ 歴史文化施設の建設予定地で発見された遺構が、本年7月に「戦国時代末期の駿府のまちの道と武家屋敷の石垣」であることが判明した。これを受け、遺構を現状保存し、歴史文化施設の一部として活用するため、施設の再設計を実施。

(単位:千円)

事業名	主な概要	金額
1 歴史文化施設建設事業 (財源:国庫支出金1/2、市債)	<p>発掘調査により発見された遺構(道と武家屋敷の石垣)を現状保存し、歴史文化施設の一部として活用するため、施設の再設計を実施するとともに、工事の延期に伴い工事費を減額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遺構の保存処理 68,000千円 実施内容 遺構の劣化を防止するための石垣や土壌の亀裂の補修、補強薬剤の塗布など ・建築・展示の再設計 130,000千円 ・建築・展示工事 △1,296,300千円 ・スケジュール (変更前) (変更後) <p>令和元年度～令和3年度 → 令和2年度～令和4年度</p>	△ 1,097,630



発見された遺構(戦国時代末期の駿府のまちの道と武家屋敷の石垣)

(B) 安心・安全なまちづくり

① 未就学児童等の交通安全対策 164,000 千円

★ 本年5月8日に発生した滋賀県大津市の事故等を受け、未就学児童等が利用する施設周辺における交通事故を防止するため、交通環境の改善を実施。

(単位:千円)

事業名	主な概要	金額
1 交通安全施設整備事業	未就学児童等が日常的に園外活動等により集団移動する経路等の交通安全対策を実施 ・実施箇所 認定こども園、幼稚園、保育所など273施設の周辺道路 ・実施内容 区画線、路面標示、ラバーポール、路肩カラー化などの整備	164,000

<対策前>



<対策後>



交通安全対策のイメージ

② 保健医療・福祉の充実

28,642 千円

- ★ 本年4月に施行された「静岡市がん対策推進条例」に基づき、がん患者が地域でいきいきと暮らせる社会の実現に向け、がん患者の経済的な負担を軽減し、治療と社会参加の両立を図るため、医療用補整具の購入費用を助成。
- ★ 高齢者施設等における防災対策を推進するため、特別養護老人ホーム及び認知症高齢者グループホーム等の非常用自家発電設備の整備費用を助成。

(単位:千円)

事業名	主な概要	金額
1 がん患者支援事業費助成	がん治療により脱毛又は乳房を切除した患者の医療用補整具の購入費用に対する助成 ・補助対象 医療用ウィッグ、補整下着、人工乳房の購入費用 ・補助率 1/2 ・補助上限額 医療用ウィッグ、補整下着 30千円 人工乳房 100千円 ・事業開始 令和元年11月(予定)	2,900
2 高齢者施設等非常用自家発電設備整備事業費助成 (財源:国庫支出金10/10)	高齢者施設等における非常用自家発電設備の整備に対する助成 ・交付先 特別養護老人ホーム 4施設 介護老人保健施設 1施設 認知症高齢者グループホーム等 3施設 ・補助額 特別養護老人ホーム及び介護老人保健施設整備費の1/2(上限額4,590千円) 認知症高齢者グループホーム等整備費の全額(上限額7,730千円)	25,742



医療用ウィッグのイメージ



非常用自家発電設備のイメージ

③ 土壌汚染・有害物質への対策

87,284 千円

- ★ 旧清水斎場の土壌汚染及び旧清水清掃工場解体工事における有害物質への対策を実施。

(単位:千円)

事業名	主な概要	金額
1 旧清水斎場解体事業	旧清水斎場(清水区北矢部)の火葬棟の解体時に発見された油汚染土壌の範囲等の調査を実施	16,600
2 旧清水清掃工場解体事業 (財源:国庫支出金1/3、市債)	旧清水清掃工場(清水区八坂町)の解体工事においてアスベスト及びダイオキシン類を含む粉塵の飛散防止対策の追加工事を実施	70,684

④ 災害復旧

446,500 千円

★ 本年5月20日、21日の豪雨及び7月26日、27日の台風6号により被害を受けた施設を復旧。

(単位:千円)

事業名	主な概要	金額
1 道路災害復旧事業 (国庫支出金66.7/100、 市債)	5月20日、21日の豪雨により被害を受けた道路の復旧 ・実施箇所 (市)仙俣線(葵区口仙俣)など 38路線47か所 ・実施内容 路肩決壊の復旧、崩土の除去など	300,000
2 林道災害復旧事業 (財源:県支出金1/2、 市債)	5月20日、21日の豪雨及び7月26日、27日の台風6号により被害を受けた林道の復旧 ・実施箇所 林道樫ノ木峠線(葵区日向)など 25路線27か所 ・実施内容 法面崩壊、路肩決壊の復旧など	132,700
3 河川災害復旧事業 (財源:市債)	5月20日、21日の豪雨により被害を受けた河川の復旧 ・実施箇所 猿田川(葵区北) ・実施内容 流出土砂、倒木の除去	8,000
4 農道災害復旧事業 (財源:市債)	5月20日、21日の豪雨により被害を受けた農道の復旧 ・実施箇所 農道茅ヶ間2号線(清水区広瀬)など 9路線9か所 ・実施内容 路肩決壊の復旧、崩土の除去など	5,800



(市) 仙俣線の被災状況



林道樫ノ木峠線の被災状況



猿田川の被災状況



農道茅ヶ間2号線の被災状況

(C) その他

280,000 千円(債務負担行為)

★ 第74回日本選手権競輪(G I)の開催に向け、売上向上を図るとともに、本市のシティプロモーションと競輪界全体のイメージアップのための広報宣伝を実施。

(単位:千円)

事業名	主な概要	金額
1 <債務負担行為> 第74回日本選手権競輪 (G I)開催事業 [競輪事業会計]	令和2年5月に静岡競輪場で開催する第74回日本選手権競輪(G I)の広報宣伝を実施 ・開催日 令和2年5月5日(火・祝)～5月10日(日) ・売上目標 130億円 ※昨年開催のKEIRINグランプリ2018の売上実績約113億円 ・実施内容 全国主要都市の街頭大型ビジョンでCM放映 JR電車内・駅内広告 CS中継番組、プロモーションビデオ制作 全国版スポーツ新聞等広告 ラッピングタクシー広告 人気Youtuber、インフルエンサーによるPR動画の配信 協力場外でスタンプラリー等を実施 など	280,000 (令和2年度)



JR駅内の広告(KEIRINグランプリ2018)



静岡競輪場マスコットキャラクター「レーサーパンダ」によるPR活動